

たんぽぽ うしん

第31号

〔編集人〕社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL：011-792-3969／FAX：011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
〔発行人〕北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕2015年4月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕20円

“山の家”が法人の新しい発展の一翼に ジュース工場や森林の利活用で施設外就労を拡大



山の家きょうどう

仁木町にある山の家きょうどうは、標高320mの冷水峠にあります。余市の海や町が遠望できる素敵な場所です。

ここを5年前に(株)きょうどうが購入し、福島の子どもの保養の実施、ご家族の一時避難などに活用する一方、法人各事業所のユーザーさんの1泊旅行や施設外就労、職員研修などに活用してきました。

いま、ここが札幌協働福祉会の新しい発展の一翼を占める場所になってきました。余市や仁木は北海道を代表するフルーツの産地です。山の家にジュース工場をつくり、くだものや野菜の加工・販売を行うことで、ユーザーさんの施設外就労の場の拡大をはかっていく考えです。ユーザーさんは、2年前から仁木町の農家で援農を行ってきました。加工を含めた農業分野の作業は、就労の充足感が高く、心身のリフレッシュ効果も期待できます。一方、地元の農家にとっても繁忙期の労力確保や規格外農産物の活用な

札幌協働福祉会 広報部長 富塚 廣

どで大きなメリットがあり、農業と福祉が手を結ぶ「農福連携」が実現することになります。

また、山を家の周辺は豊かな森林が広がっています。春は山菜、秋はきのこの宝庫です。白樺の樹液を採取し、石鹸づくりなども行っています。林の中につくった散策路「たつたロード」は、子どもたちの冒険広場だったり、環境教育の場になったりします。いろいろな生き物が暮らす森の豊かさ、その恵みをいただいて生きてきた私たちの暮らしをもう一度見直すかっこうの機会です。この森林をしっかりと手入れし、守り育てていくとともに、森林資源や森林空間の利活用に取り組んでいきます。しいたけの原木栽培、木工品づくり、薪の採取など、ユーザーさんの就労の場として、同時に放射能から逃れて避難されてくる方の雇用の場としても活用が期待できます。

昨年秋から始まった、あいの里教育大駅前での「野菜販売」は、都市(拓北・あいの里地区)と農村(仁木町)を結ぶ1本の糸です。それをさらに広げて、都市と農村に住む人たちがお互いにつながり、支え合う関係ができれば素晴らしいと思います。その役割を山の家はしっかり担っていきたいと考えております。

行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 4月18日(土) 新旧拓北・あいの里まちづくりセンター所長歓送迎会 場所：拓北・あいの里地区センター

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 4月17日(金)～18日(土) 新規採用職員研修 場所：山の家きょうどう
- 4月25日(土) ◎協力会総会 ◎アクティビティセンター改築記念祝賀会 場所：拓北・あいの里地区センター
- 5月2日(土)～3(日) 登別旅行



2015 札幌協働福祉会 冬季1泊旅行

2月3日(火)から14日(土)までの期間、札幌協働福祉会の各事業所は1泊体験旅行を行いました。昨年と同様、仁木町「山の家きょうどう」に宿泊し、温泉や観光を満喫しました。



小樽運河で記念写真を撮りました

あくていぶ



宿泊地山の家での集合写真

サポートセンター



2日目昼食、かま米での写真

小樽ゆきあかりの路を見学



きのこ王国で



夕食は皆さんでホットプレートで焼肉



マッサンで話題のニッカウキスキー工場にて

ウレシパ
ポエム



フレンドリーハウス前にて



焼肉を囲んで乾杯!



スペースアップルにて

高岡アクティビティー
センター



カンパニー!



2日目の昼食は鮭処・銭函大山へ



食後はカラオケを楽しみました

ふれあい
センター



ニッカウキスキー工場にて



小樽天狗山での雪あかりの路を見学

アート
センター

ハイポーズ!



小樽天狗山で記念撮影

アクティビティー
センター



1日目の夕食は余市で海鮮丼を食べました
温泉入浴後、湯の花手宮店で湯の花御膳を満喫



余市の道の駅での集合写真



2日目の昼食は中華料理屋さん

夕食は具だくさんの鍋パーティー

ドリーム
センター



みんなで協力して朝食作り



お昼は豪華にステーキコース!デザートもあるよ



2/15(日) しのつ湖でワカサギ釣り



ピニールハウス3棟を余暇支援部で借りました

2月15日、札幌協働福祉会の余暇支援部は15名(スタッフを含む)の参加者を募り、新篠津村のしのつ湖で氷上ワカサギ釣りを楽しみました。しのつ湖は石狩川をせき止めてできた三日月湖で、冬期間はワカサギ釣りスポットとして有名です。皆さんは午前9時半過ぎに現地到着。釣竿、えさ等を借りて釣り場にあるピニールハウスへ。それまで吹いていた強風もこの



ハウス内には暖房器具が用意され、暖かです



このハウスは男子禁制!女子?3人用

時点でピタッと止んでしまったのは不思議です。湖畔には温泉施設もあり、色々と楽しみました。

インタビュー 9

拓北・あいの里連合町内会
副会長
近藤 幸一氏(78歳)



近藤さんは、ひまわり連合自治会長やひまわり団地南町内会長、英藍高校の評議員などを務め、地域振興に多大な貢献をされてきた。また、拓北パークゴルフ同好会の会長として、拓北公園パークゴルフ場を整備、高齢者の健康増進面にも活躍されている。

地域課題の解決に連日奔走 パークゴルフ場を整備し、高齢者の健康づくりにも貢献

▼連日忙しそうですね。

近藤 いろいろな課題があります。昨日(2月25日)は松井会長と三役でJR北海道本社に行き、新千歳空港直行列車の増便や拓北駅のエレベーター設置、南北あいの里間の踏切の設置等をお願いしてきたところです。

▼ぜひとも早く実現してほしいですね。3.11 東日本大地震以降、防災の重要性も見直されています。

近藤 そうです。ひまわり連合自治会防災会では、電気・ガス・水道・暖房等ライフラインを全て断った冬季サバイバル宿泊訓練を行ってきました。雪穴を掘って一晩明かす訓練をしたこともあります。より現実的な訓練が大切なので、拓

北・あいの里連合町内会でもいま、複数の町内会の指定避難所で合同防災訓練を行っています。

▼パークゴルフ同好会は何年になるのですか。

近藤 会長になってから今年で11年目です。拓北公園パークゴルフ場の管理を札幌市から委託され、9ホールを18ホールに増やしていただき、楽しくやっています。30数名の役員が2グループに分かれて、毎週月曜日、芝刈りやコース整備を行い、愛好者の皆さんに楽しく利用していただくよう頑張ってきました。お陰さまで、会員数も北区では一番多い同好会になりました。

▼楽しみながら健康増進を図っているのですね。ありがとうございました。

3/7(土) 札幌協働保育園 3/14(土) あいの里協働保育園



3月7日札幌協働保育園では新しい園舎で37回目の卒園式が行われ、男子10名、女子8名、計18名が元気に卒園しました。また、3月14日あいの里協働保育園でも第3回卒園式が行われ、男子6名、女子6名、計12名の子どもたちが卒園しました。



札幌協働保育園卒園児による「ともだちほしいなおおかみくん」



在園児による「おおかみくん」



札幌協働保育園
庄司園長から卒園証書を受け取りました



思い出いっぱいの素敵な式になりました。



あいの里協働保育園卒園児による「白雪姫」

地域行事の紹介

室内雪合戦



3月8日(日)、地区センターにて屋内雪合戦が行われました。拓北・あいの里青少年育成委員会主催のもと、連合町内会・まちづくりセンター・地区センターの協力を得て拓北・あいの里地区小学校4校の1年生から6年生の計240名が参加。

当初100名程度を予定していましたが、参加人数を見て嬉しいやら收拾付かないやらでビックリ!

終了後は、育成委員が作った豚汁とおにぎりをみんなで美味しくいただきました。



事業所紹介コーナー 9

ふれあいセンター A・yell

【障がい福祉サービス事業】

就労継続支援B型 20名

2012年12月開設

札幌市北区あいの里4条5丁目9-3

TEL 011-214-1116/FAX 011-214-1117



ふれあいセンターA・yell(ア・エール)は平成24年12月に就労継続支援B型の事業所としてオープンしました。この4月からは2名のユーザーさんが新しく仲間に加わり、16名のユーザーさんとスタッフが主に食事に関する仕事を行っています。作業内容は野菜の切込みや盛付け、配食といったお仕事です。また、施設外就労として仁木町での援農や後志管内の野菜をあいの里にて販売(月に1回)、近隣の老人ホームでのパンの外販といった就労の機会を提供しています。

併設されているレストラン「モナムール」では、焼き立てのパンの販売を始め、ワンコイン500円での日替りランチ(10食限定)や本格的な洋食を中心としたメニューが並び、地域の方々にご愛顧を頂いております。

「衣食住」のなかで、「食」ほど日々の生活に細かく関わるものはありません。故に皆様の口に入る食材にもしっかりとこだわりを持って、誰もが安心して、美味しく、そして充実した生活の糧となるべく、食に関わる事業所であることに誇りを持って、ユーザー・スタッフ一丸となって頑張っております。

【文・ふれあいセンターA・yell 阿部 義一】



施設外就労として野菜販売の様子



ワンコイン日替りランチ(写真は一例)

3/22(日)

札幌協働福祉会 職員研修・歓送迎会

職員研修の様子

全職員を対象にした職員研修が3月22日、拓北・あいの里地区センターで開催されました。

あいさつに立った辰田理事長は「今秋の福祉センター開設で、いよいよ高齢者福祉に乗り出す。あいの里を日本で最も優れた福祉地域にしよう」と呼びかけました。今回の講師は多彩な顔ぶれで、元農林水産大臣の山田正彦さん、元外交官の孫崎亨さん、そして市民放射能測定所「はかーる・さっぽろ」代表の富塚とも子さん、最後に北海道教育大学准教授の齋藤真善さんが「自閉症スペクトラム障がいの理解と支援」と題して講演しました。

午後6時からは、北区のカトーキングダム札幌で新人職員と退職する職員の歓送迎会が開かれました。そのなかで、6名の職員に功労賞が贈られ、34名の職員が勤続表彰を受けました。



新人職員の皆さんが自己紹介



拓北・あいの里連合町内会松井会長の来賓挨拶



芸術芸能推進プロジェクトの歌や踊りのパフォーマンスショー



元農林水産大臣
山田正彦氏

元外交官
孫崎亨氏

はかーる・さっぽろ代表
富塚とも子氏

道教育大札幌校准教授
齋藤真善氏

辰田理事長

山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設“山の家きょうどう”からの通信を掲載します

3.11から5年目に入った。いまもなお、多くの方が仮設住宅で暮らし、放射能の不安の下で暮らしている。2月に福島市で開催された避難・保養の相談会。全国から20を超える保養受け入れ団体が集まった。日曜日の11時から16時まで相談に来られたのは、120家族350人。札幌協働福祉会のブースにも多数来場され、この春休みに伊達市から35人の親子が山の家に来ることになった。障がいを持った子のお母さんは、山の家が障がいを持った子も優先的に受け入れているのを知ると、安心して春休みの滞在を申し込みました。移住を視野に夫婦で相談に来られた方もいた。これまで山の家経由で北海道に避難移住されたのは10家族を超える。ほとんど母子避難。いつになったら、夫婦・親子一緒に住めるのだろうか。



2月に福島市で開かれた保養相談会

HSK たんぽぽ通信 第31号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻517号
[発行] 2015年4月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3
TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)